

三次元測定機とDXのチカラで実現！建設業の未来

取組みを始めた背景

令和5年10月より土木部門と建築部門の生産性向上を目的に同列の独立した部署として、事業推進本部を立ち上げた。

デジタル技術を活用し、建設現場と本社を結び、進捗管理と書類対応の一元化を進めている。

社内でも最新技術への対応と横展開をリードしている。

現場でもICT施工を順次導入しているが、旧来の測量機器を使用して計測している部分もあり、以下の課題解決が急務。

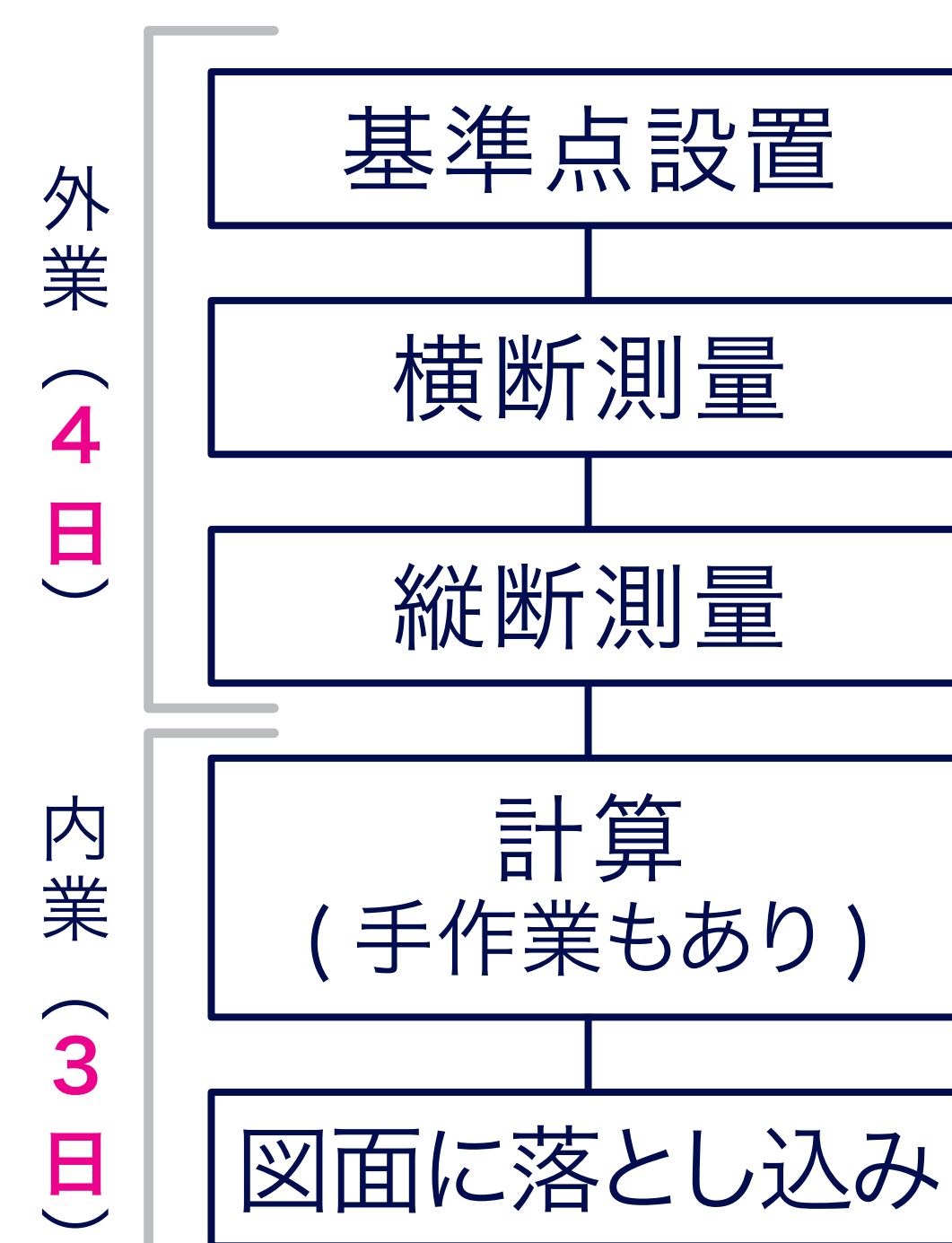
- 測量機器を扱える人材が限られている
- データ取得に時間がかかる
- 測量結果等を手作業で整理
→ 入力ミスが発生
- 長時間労働の一因

株式会社 姫野組

土木、建築、設備、住宅などの工事を請け負う総合建設業者

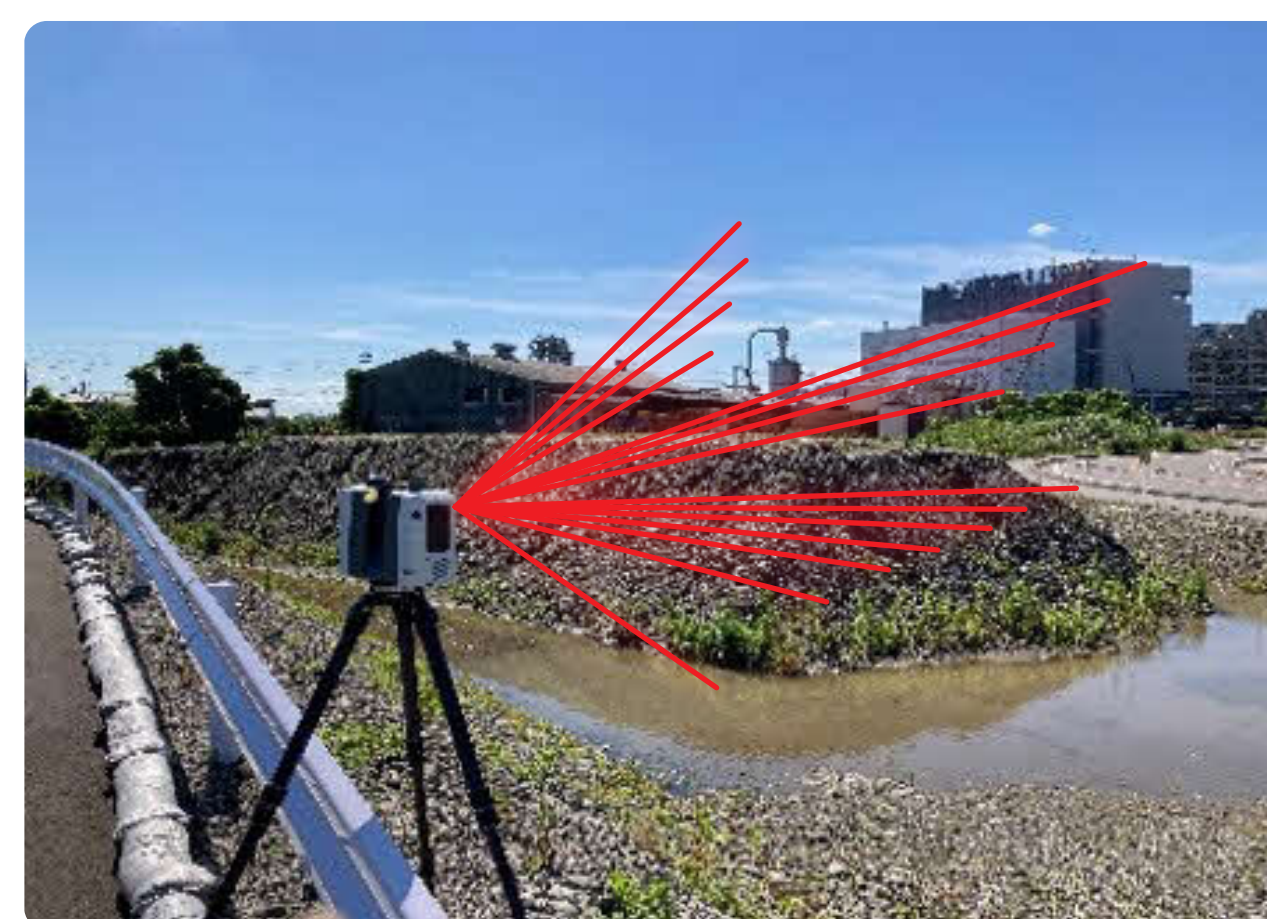
取組み内容

● 従来の測量作業



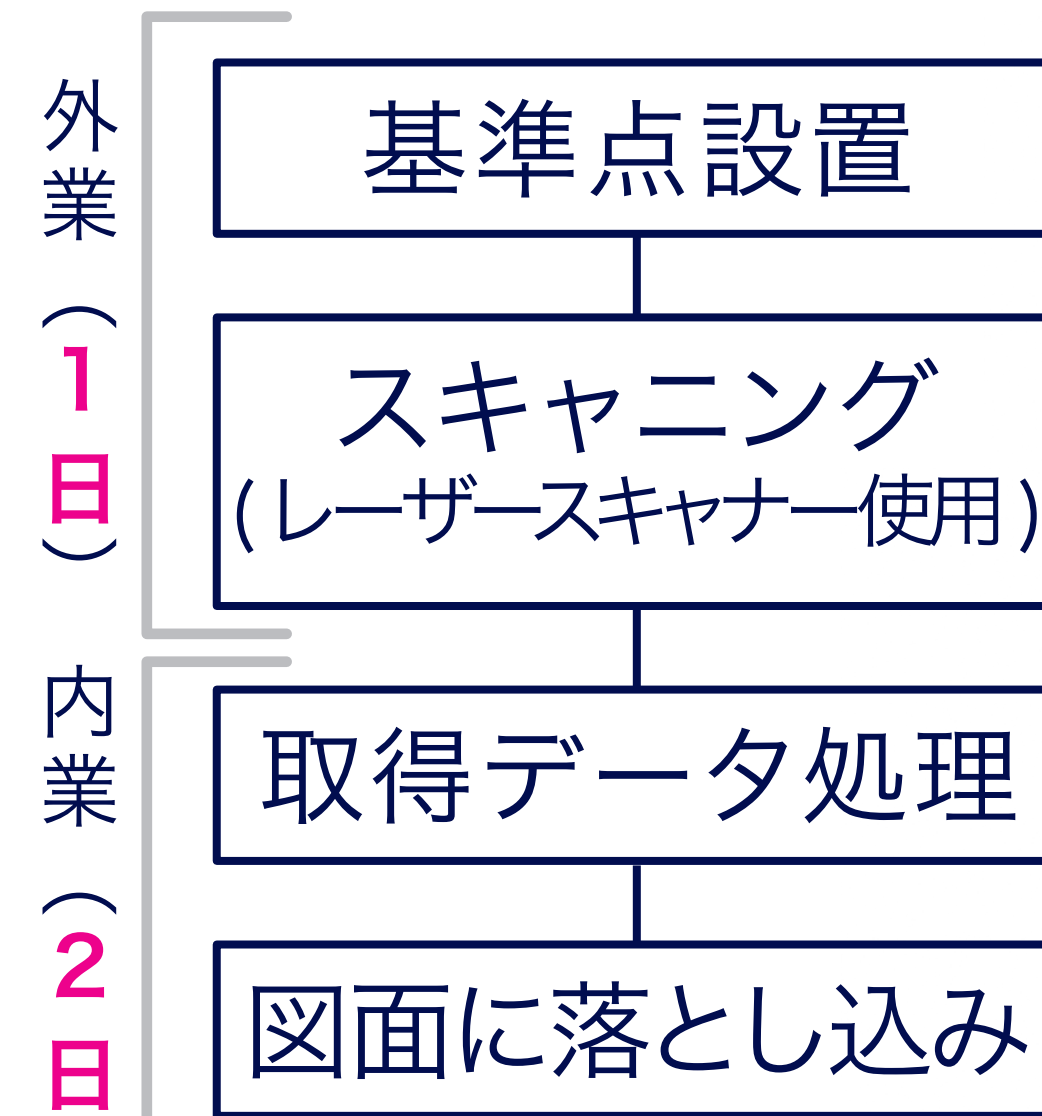
計 7 日

作成できるデータは2次元



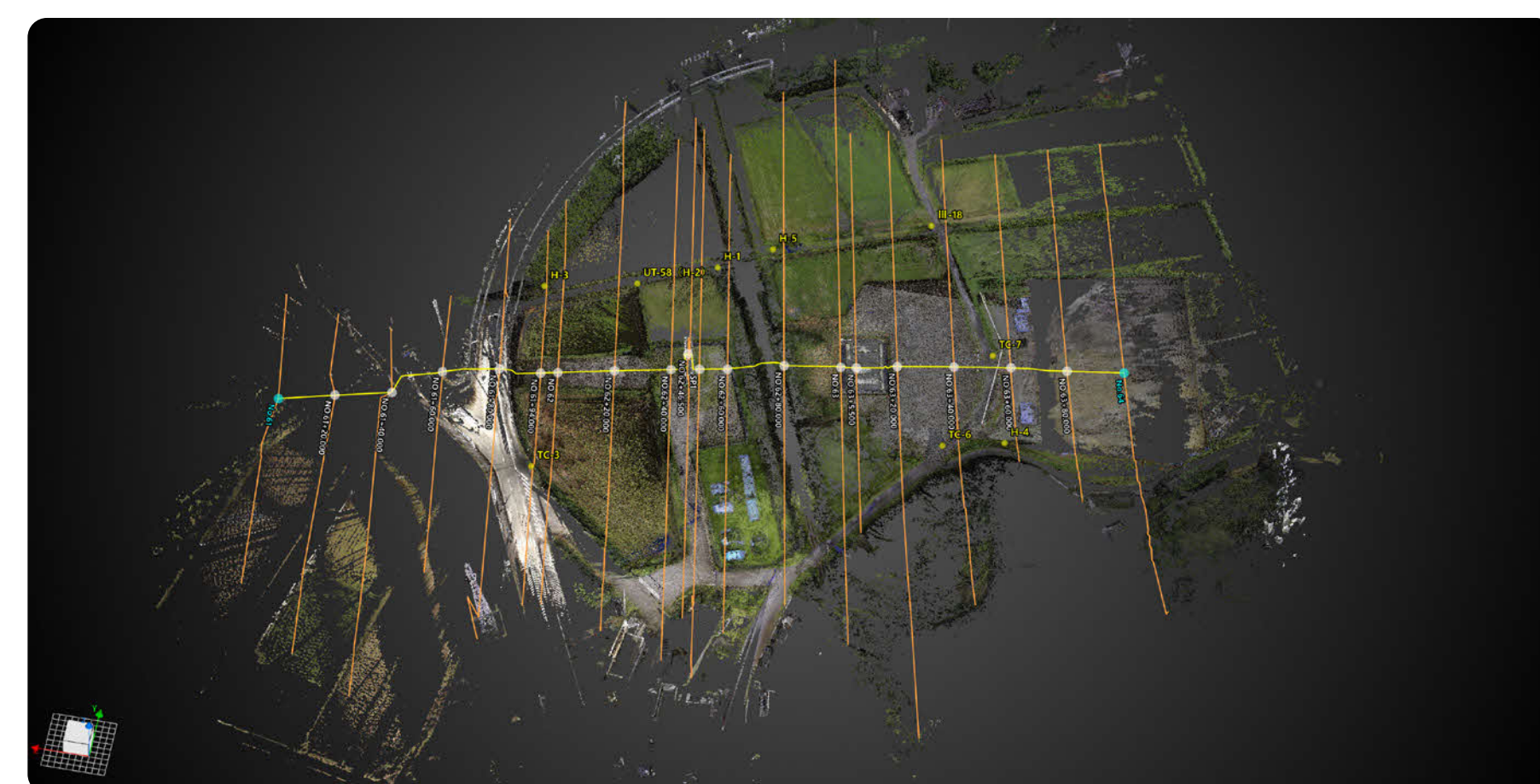
三次元測定機器類を導入し、大幅な時間短縮、属人化の解消、ミス低減を図り、生産性を高める

● 導入後の測量作業



計 3 日

作成できるデータは3次元



効果（成果）

1 測量業務の工数削減 【7日 ⇒ 3日】 × 現場数 = 年間 60 日削減

- 現場での測量作業 【4日 ⇒ 1日】
- 事務所での測量データの整理・図面作成 【3日 ⇒ 2日】

2 人員不足の解消

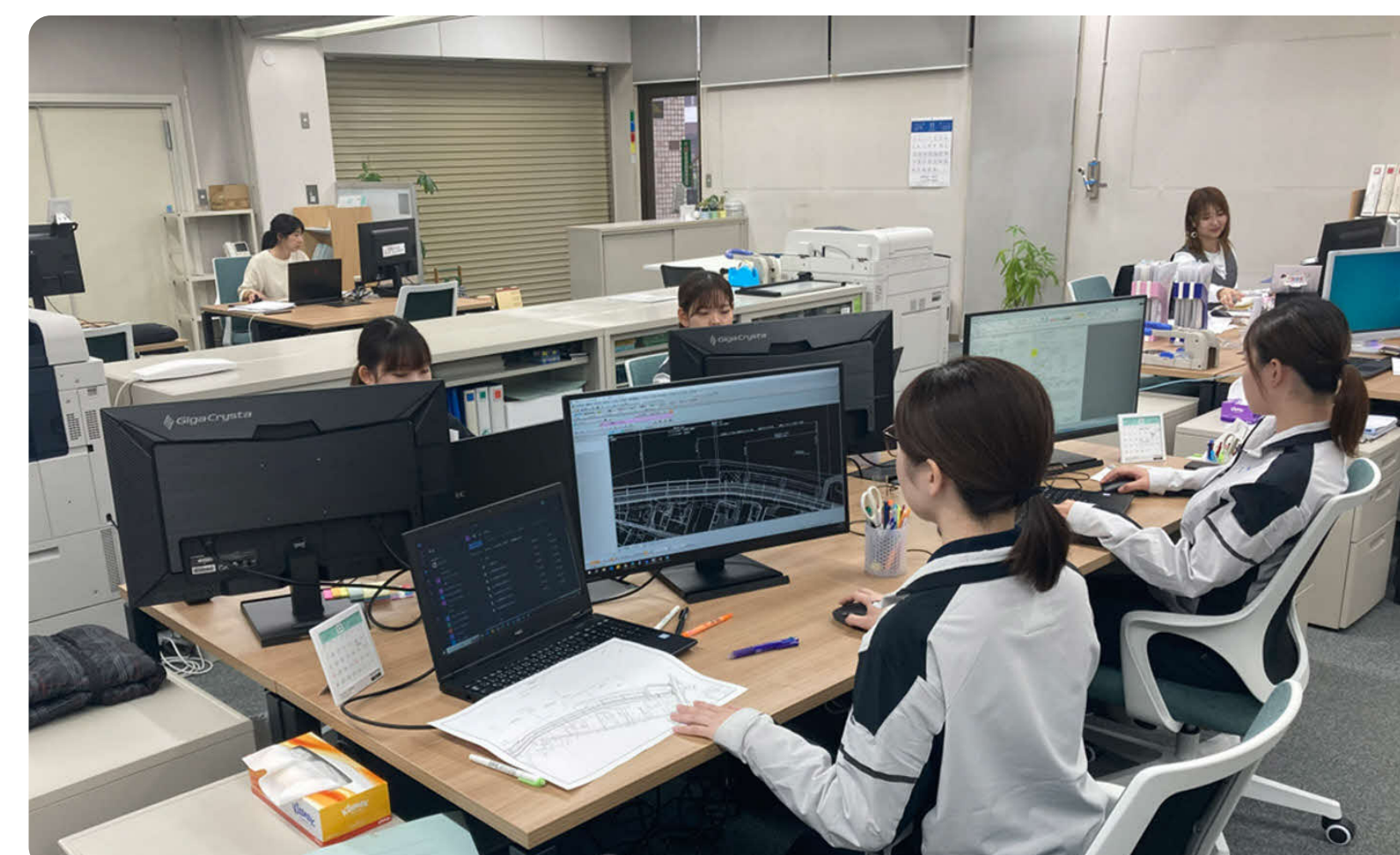
- 測量作業に必要な人員 【2人 ⇒ 1人】 …… スピーディーに多くの現場に対応できる。

今後の取り組み

デジタル機器導入を足掛かりに、測量業務の作業工数を減らし、取得した三次元デジタルデータを基にした一元的な情報管理を目指す。

事業推進本部では、各部門で実施していた最新技術への対応及び推進業務を一手に担い、自社内での展開を強力に推進。

グループ会社や協力会社にも波及させ業務効率化を図り、業界全体の底上げを目指す。



各部署の有益な情報や最新技術を社員へ共有・提供できる「社内のバックオフィス」として活躍することにより、本社・現場の業務工数を軽減し、本業である総合建設業としての品質向上に集中する環境を整え、姫野組全体の生産性及び価値を高める。

活躍企業



2023年に事業推進部社員5名は建設ディレクター協会から認定を受けています。

